

対ウルグアイ東方共和国 事業展開計画

2021年 5月 現在

基本方針 (大目標)	格差是正の取組や環境・気候変動分野等の支援を通じ、包摂性、持続可能性及び強じん性を兼ね備えた質の高い成長に向けた支援を行う。
---------------	--

重点分野 1 (中目標)	格差是正												
開発課題 1-1 (小目標) 格差是正 教育・保健医療・ 社会福祉サービス 改善及び人材育成 プログラム	【現状と課題】 ウルグアイ経済は堅調な成長を続けているものの、経済の持続的成長を維持するためには、依然として大きい国内の格差是正が課題である。格差是正のための個別の課題としては以下がある。 一点目として、貧困率が高い地域や農村部では、保健医療サービスや社会福祉サービスへのアクセスが経済的・物理的に難しい状況で都市部との格差が大きく改善が必要である。 二点目として、25歳以上の成人の40%強が中等教育を修了しておらず、主に低所得者層の青少年が教育課程からドロップアウトする傾向が続いている。格差是正のためにはこの状況の改善が必要である。				【開発課題への対応方針】 貧困率の高い農村部及びモンテビデオ県郊外を中心に、低所得者層・障がい者・高齢者等の社会的弱者に対する教育・保健医療・社会福祉サービス及び所得の向上を目的とした支援を行う。低所得者層への教育・職業訓練等を通じた人材育成の支援もあわせて行っていく。上記方針を通じ、持続可能な開発目標3（保健）、4（教育）、10（不平等）、17（実施手段）等の達成に貢献する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名		実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
		特に貧困率の高い地域における保健医療・社会福祉サービスの向上と共に人材育成を図る。	保健医療・社会保障分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■							0.15	
			社会的弱者支援分野のJICA海外協力隊の派遣	JOCV	■								
			社会的弱者支援分野の課題別研修	課題別研修他	■	■							
			農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■							0.10	
			インクルーシブ教育分野の課題別研修	課題別研修他	■								
			警察人材育成分野の課題別研修	課題別研修他	■								
			ウルグアイ国民健康目標に係る支援	マルチ	■							0.50百万USD	米州開発銀行日本特別基金(JSF)
		高齢者向けコミュニティセンターの構築支援	マルチ	■	■						0.85百万USD	米州開発銀行日本特別基金貧困削減プログラム(JPO)	

重点分野2 (中目標)	環境保全											
開発課題1-2 (小目標) 環境保全	<p>【現状と課題】 ウルグアイ政府は1994年に気候変動枠組条約、2000年に京都議定書、2014年に水銀に関する水俣条約を各々批准している。また、2015年6月にはラムサール条約締約国会議をブエノスアイレスで開催する等、環境面で国際的役割を果たしている一方、首都圏におけるリサイクルシステムが十分に機能していない、河川の水質汚濁対策が十分でない等の環境問題を抱えている。 また、ウルグアイは石油、石炭、天然ガスが産出されず、数年前まで、国内資源による発電の大半は水力に限られていた。このため干ばつに伴う水不足により、エネルギー需給のひっ迫、火力発電所の稼働率上昇によるCO2排出量の増加といった問題が生じていた。近年、政府はこうした問題を解決すべく、風力、太陽光発電、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入を積極的に実施している。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 気候変動対策に資するエネルギー分野の支援を行っていく。また、廃棄物処理や水質汚濁対策等が不十分であるため、かかる環境保全分野への支援も行う。上記方針を通じ、持続可能な開発目標6（水・衛生）、7（エネルギー）、13（気候変動）、17（実施手段）等の達成に貢献する。</p>						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	環境・エネルギー 問題対策プログラム	再生可能エネルギーの導入を促進すると共に環境教育を推進し、環境保全対策の充実に努める。	太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画	無償	■						7.30	
			環境分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■					
			水素エネルギー利用の推進	国別研修		■	■					
			水質管理(南米地域の河川流域の総合アセスメント)	第三国研修		■	■					
環境分野のJICA海外協力隊の派遣			JOCV	■								

重点分野3 (中目標)	民間セクター開発															
民間セクター開発	【現状と課題】 ウルグアイは南米で最も政治的・社会的に成熟した国であり、盛んな農牧林業に加えメルコスールの創設メンバーとして南米市場のロジスティックセンターと位置づけられている。2017年の投資協定発効や2019年の租税条約署名など、日本との経済面での関係も強化されつつある。				【開発課題への対応方針】 貿易投資環境の整備や観光の促進、アグリビジネスの振興、周辺地域との協力による課題への対応や文化交流等を通じ民間セクターの開発を支援する。上記方針を通じ、持続可能な開発目標8（成長・雇用）、9（イノベーション）、17（実施手段）等の達成に貢献する。											
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考				
	民間セクター開発	貿易投資環境の整備や観光の促進、アグリビジネスの振興等、民間セクターの開発を支援する。	生産性向上に資する企業運営分野の課題別研修	課題別研修	■											
			灌漑排水システムによる農業生産の推進	第三国研修	■	■	■							0.10		
			スポーツ振興と青少年育成分野のJICA海外協力隊の派遣	JOCV	■											
日本語教育等文化活動促進分野のJICA海外協力隊の派遣			JOCV	■												

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝現地国内研修)、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「——」」(＝実施期間)、「破線「- -」」(＝実施予定期間)